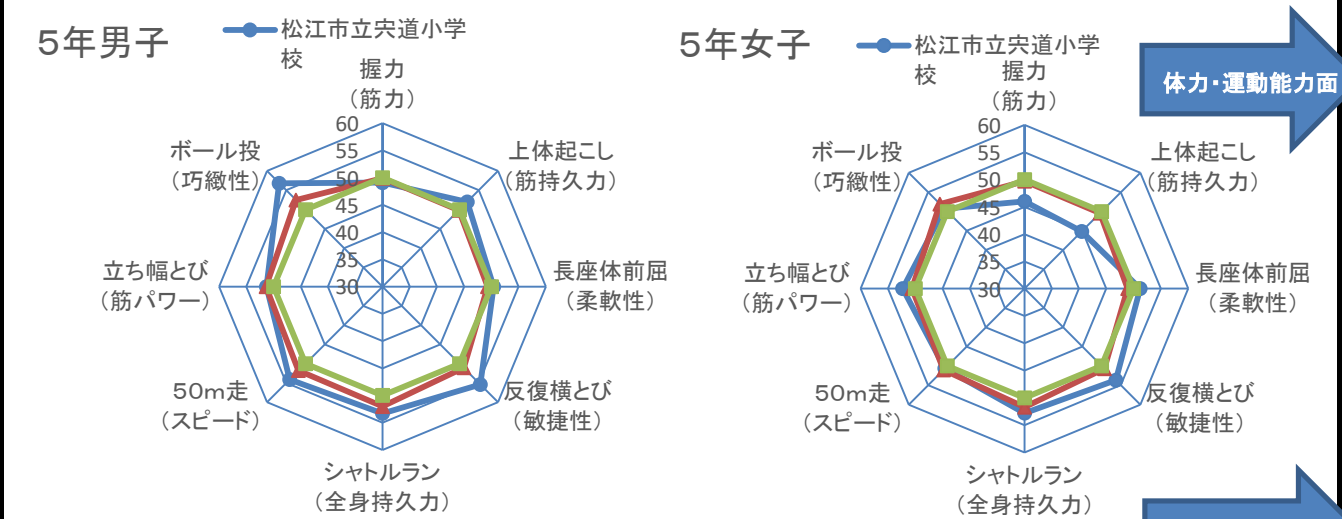
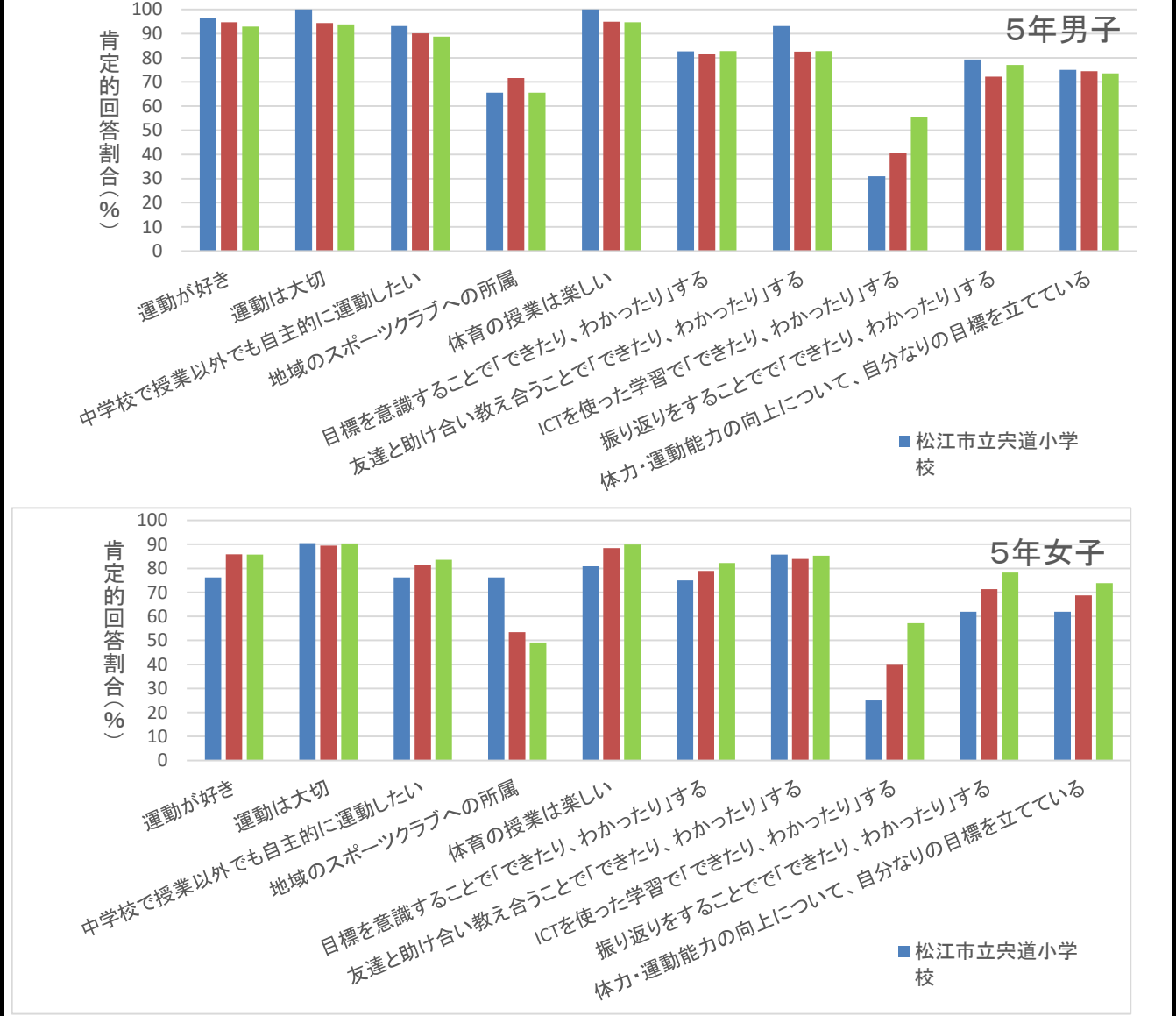


松江市立宍道小学校

(1) 令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査＜意識調査＞の結果  
(体力合計点との相関が指摘されているものや松江市教育委員会として注目しているものを挙げています)



(2) 調査結果の分析

① 体力・運動能力面 全国(偏差値)との比較

|    | 握力<br>(筋力) | 上体起こし<br>(筋持久力) | 長座体前屈<br>(柔軟性) | 反復横とび<br>(敏捷性) | シャトルラン<br>(全身持久力) | 50m走<br>(スピード) | 立ち幅とび<br>(筋パワー) | ボール投<br>(巧緻性) |
|----|------------|-----------------|----------------|----------------|-------------------|----------------|-----------------|---------------|
| 男子 | -0.9       | 2.0             | 0.4            | 5.4            | 3.3               | 4.1            | 1.3             | 6.8           |
| 女子 | -4.0       | -5.2            | 1.2            | 3.7            | 2.8               | 0.6            | 2.3             | 0.7           |

【-5p以上】 【-5~-2p】 【-2~0p】 【0~2p】 【2~5p】 【5p以上】

弱み ← → 強み

② 意識面 全国(割合%)との比較

|    | 運動が好き                            | 運動は大切                                    | 中学校で授業以外でも自主的に運動したい | 地域のスポーツクラブへの所属 | 体育の授業は楽しい | 目標を意識することで「できたり、わかったり」する | 友達と助け合い教え合うことで「できたり、わかったり」する | ICTを使った学習で「できたり、わかったり」する |
|----|----------------------------------|------------------------------------------|---------------------|----------------|-----------|--------------------------|------------------------------|--------------------------|
| 男子 | 3.6                              | 6.2                                      | 4.3                 | -0.1           | 5.3       | -0.1                     | 10.3                         | -24.5                    |
| 女子 | -9.5                             | 0.1                                      | -7.4                | 27.0           | -9.0      | -7.2                     | 0.4                          | -32.2                    |
|    | 振り返りをする<br>ことで「できたり、<br>わかったり」する | 体力・運動能力<br>の向上について、<br>自分なりの目標<br>を立てている |                     |                |           |                          |                              |                          |
| 男子 | 2.3                              | 1.5                                      |                     |                |           |                          |                              |                          |
| 女子 | -16.4                            | -12.0                                    | 【-7%以上】             | 【-7~-3%】       | 【-3~0%】   | 【0~3%】                   | 【3~7%】                       | 【7%以上】                   |

弱み ← → 強み

(3) 令和6年度の方針【学校全体での取組】

○種目別に見ると、男女ともに「握力」の数値が全国及び県平均を大きく下回ったため、昨年と同様「握力」をはじめとする全身の筋肉量の向上は必須である。ろくぼくや遊具を使用するなどして、握力の強化を図りたい。

○女子の意識調査において、「運動が嫌い」が、23.8%と多く、「好き」の割合が全国及び県平均を大きく下回った。普段からの体を動かす時間の確保が必要である。体力向上や運動に親しむことにつながるような活動を委員会で企画し、全校で実施する。

○全国平均に比べると、体育授業におけるタブレット等のICT活用ができていないので、積極的な使用を学校全体で広げたい。

○「わたしたちの体育」の使い方は、各担任に委ねられており、活用における実態には、学級によって差があった。どの学級でも有効活用がなされるよう意識づけを図っていく。

○各学年で日常的に使用できるボールを準備したことで、休憩時間に校庭や体育館で元気に遊ぶ姿が見られたため、来年度も継続して使用できるよう整備をする。

○「宍道湖1周マラソン」は委員会主体で開催でき、児童主体で体力向上につながった。来年度も企画をする。

○体幹を鍛えるためのエクササイズについて、職員研修を行い、周知ができたため、来年度も継続して取り組む。

○児童が満足して運動ができる数の体育器具がそろっていなかったため、安全に運動ができるように器具の充実や校庭の整備を引き続き行う。

○新体力テストの結果を基に、児童の実態の分析はできたが、具体的な体力向上の取組は実施できなかった。来年度は、本校児童の現状を分析し、体力向上の取組について校内で検討する場を設定する。

○体力向上推進計画について、校内教職員間で共有する場を持つ。

○学習のめあての提示の仕方、振り返りの充実、授業改善のテーマを決め、授業改善及び授業の質の向上を図る。

○体力・運動能力調査の結果概要を保護者や地域と共有し、学校・家庭・地域が連携・協働しながら児童の体力向上の取組ができるよう情報発信をする。

○中学校区内の小・中学校で情報交換、共有を行い、体力向上に向けての取組を共有・実践につなげる。